

# パーソナル オーディオシステム

---

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、  
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



## ZS-D50

© 1998 by Sony Corporation



# 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

4~7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

## 定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

## 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

## 万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



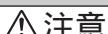
- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

## 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

## 注意を促す記号



火災



感電

## 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

## 行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く

# 目次

△警告・△注意 .....	4
---------------	---

## ここだけ読んでも使えます

CDを聞く .....	8
ラジオを聞く .....	10
テープを聞く .....	12
録音する .....	14

## CD

表示窓の見かた .....	16
聞きたい曲を選ぶ （ダイレクト選曲/サーチ）.....	17
繰り返し聞く（リピート演奏）.....	18
1曲だけ聞く（1曲演奏）.....	19
順不同に聞く（シャッフル演奏）...	20
聞きたい曲を好きな順に聞く （プログラム演奏）.....	21

## ラジオ

放送局を記憶させる.....	23
記憶させた放送局を聞く.....	24

## テープ

曲の頭出しをする.....	25
CDを編集録音する .....	26

## タイマー

時計を合わせる.....	32
音楽で目覚める.....	33
音楽を聞きながら眠る.....	35
留守中にラジオを録音する.....	36

## 接続と準備

電源を準備する.....	38
MDなどをつないで使う.....	40
好みの音質で聞く .....	42

## その他

使用上のご注意.....	43
故障かな？と思ったら .....	44
お手入れ.....	47
保証書とアフターサービス .....	48
主な仕様.....	48
各部のなまえ .....	50
用語集 .....	54
索引.....	55

## 録音についてのご注意

- ・録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- ・パーソナルオーディオシステムの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- ・あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

# 警告



火災



感電

下記の注意事項を守らないと火災・  
感電により死亡や大けがの原因  
となります。

## 内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



## 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。



## 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



## 海外では使用しない

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



## 雷が鳴りだしたら、アンテナや電源プラグに触れない

感電の原因となります。ただし製品を屋外で使用中に、遠くで雷が鳴り出したときは、落雷を避けるため、すぐにロッドアンテナをたたんで使用を中止してください。



# ⚠ 注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に  
損害を与えることがあります。

## 内部を開けない

感電の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



## ぬれた手で電源プラグをさわらない

感電の原因となることがあります。

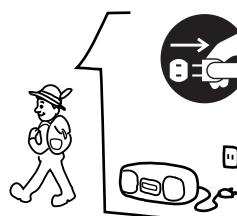


移動させるとき、長時間使わないときは、

## 電源プラグを抜く

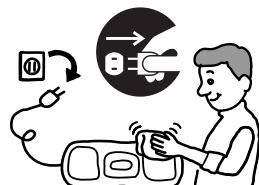
電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

長期間の外出、旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。



## お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



## 安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度もじゅうぶんに確認してください。



# ⚠ 注意

つづき

## 通風孔をふさがない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



## 大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



## 幼児の手の届かない場所に置く

カセットぶたなどに手をはざまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



## 円形ディスク以外は使用しない

円形以外の特殊な形状(星型、ハート型など)をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となることがあります。

# 電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

## ⚠ 警告

- ・火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- ・乾電池は充電しない。
- ・指定された種類の電池を使用する。
- ・+と-の向きを正しく入れる。

## ⚠ 注意

- ・電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- ・新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

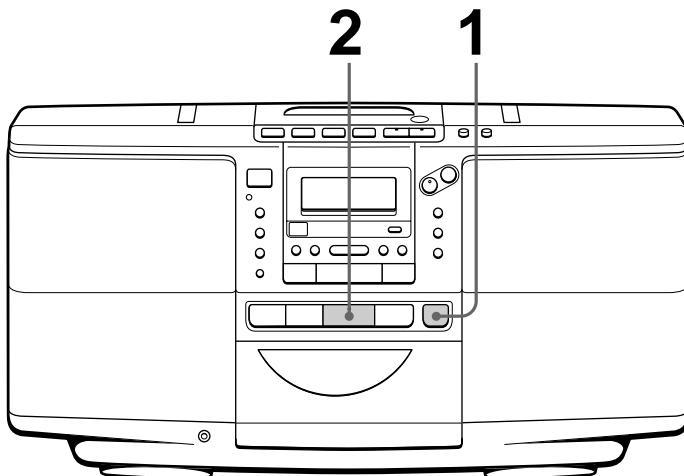
もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとつてから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

### この取扱説明書について

本書では、本体での操作を中心に説明しています。リモコンでの操作のしかたは、本体と違う場合に明記してあります。

「各部のなまえ」(50~53ページ)も併せてご覧ください。

# CDを聞く



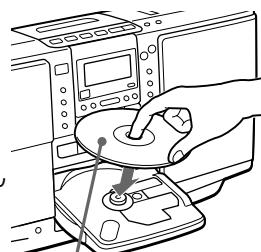
接続と準備→電源コードを接続してください(38ページ)。

1

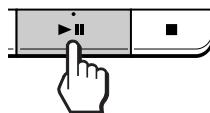


▲CD開/閉を押してCDを入れる。

ボタンを押すと自動的に電源が入り、  
CDトレイが出てきます。  
カチッと音がするまでCDをはめこん  
でください。



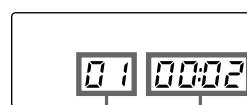
2



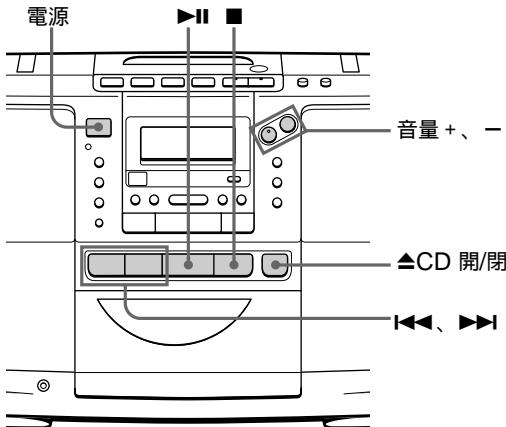
▶▷ボタンを押す。  
(リモコンではCDの▶ボタ  
ンを押す。)

CDトレイが閉まり、再生が始まります。

本体表示窓



## その他の操作



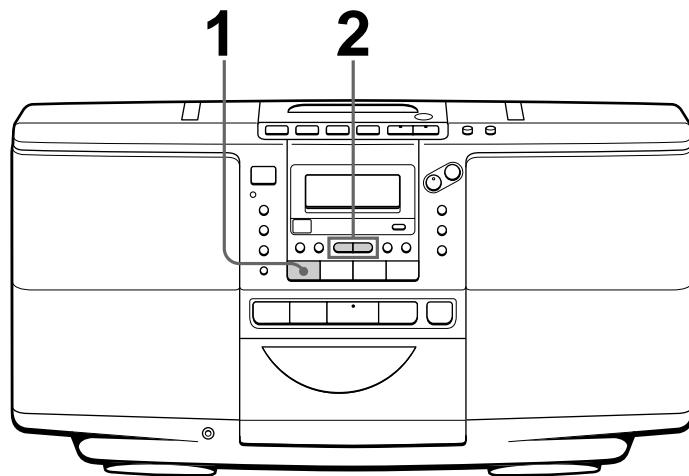
### ちょっと一言

一度CDを入れておけば、次にCDを聞くときは▶▷ボタンを押すだけで電源が入り、演奏を始めることができます。

こんなときは	押すボタン / 操作
音量を調節する	音量 +, -
再生を止める	■
再生中に一時停止する	▶▷(II) もう一度押すと演奏が始まる。
曲の頭に戻す	◀◀ 短くポンと押す。
次の曲へ進む	▶▶ 短くポンと押す。
CDを取り出す	▲CD 開/閉
電源を入/切する	電源

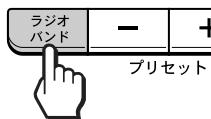
( )内はリモコンのボタンです。

# ラジオを聞く



接続と準備→電源コードを接続してください(38ページ)。

1



ラジオ・バンドボタンを押し  
て、FM(TV1-3ch)かAMを  
選ぶ。

本体表示窓

AM 594

ボタンを押すと自動的に電源が入り、  
「FM」か「AM」が出ます。切り換える  
ときは、もう一度押します。

2



選局 時刻合せ + または - ボタン  
を押したままにし、数字が動き  
始めたら指を離す。

ステレオ放送のとき出る

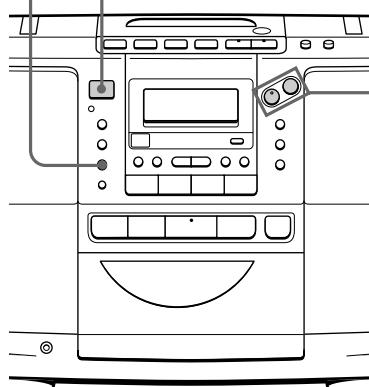
FM 81.3

放送局を自動的に受信して止まります。  
受信できなかったときは、選局 時刻合  
せ + または - ボタンを繰り返し押して、  
聞きたい局の周波数に合わせます。

## その他の操作

モード・モノ/ステレオ ISS

電源



音量 +、 -

### ちょっと一言

- FMステレオ放送の雑音が多いときは、本体のモード・モノ/ステレオ ISSボタンを押して、表示窓に「Mono」を出します。音はモノラルになります。
- 一度放送局を受信すれば、次にラジオを聞くときはラジオ・バンドボタンを押すだけで電源が入り、ラジオを聞くことができます。

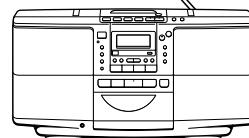
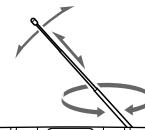
こんなときは 押すボタン

音量を調節する 音量 +、 -

電源を入れる 電源

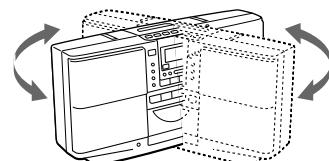
受信状態をよくする

FM(TV1 - 3ch)放送のとき  
アンテナを伸ばし、向きを変える。



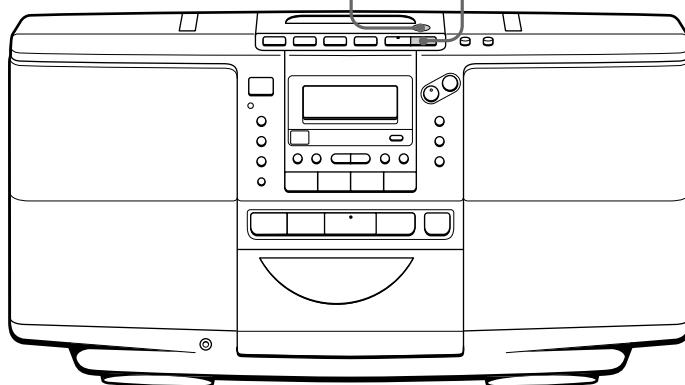
AM放送のとき

本体を最も受信状態の良い方向へ向ける。



# テープを聞く

1,2 3



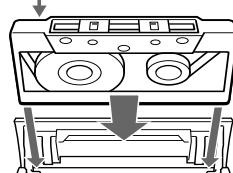
接続と準備→電源コードを接続してください(38ページ)。

1



△押す 開/閉を押してカセット  
ぶたを開け、カセットを入れ  
る。

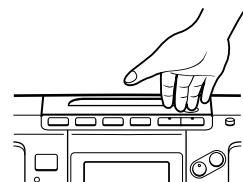
聞きたい面を上に



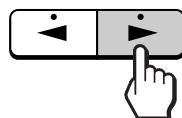
2



△押す 開/閉を押してカセット  
ぶたを閉める。



3



►ボタンを押す。  
(リモコンではテープの►ボ  
タンを押す。)

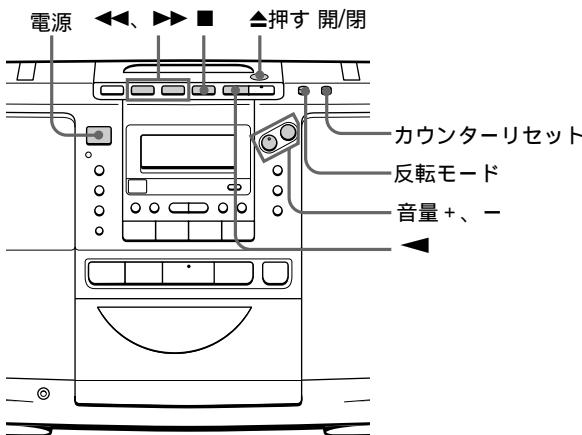
自動的に電源が入り、再生が始ま  
ります。

本体表示窓



テープカウンターが出る

## その他の操作



ちょっと一言

- ・テープカウンターは本体のカウンターリセットボタンを押すと、000に戻ります。あとから頭出しそるのに便利です。
- ・一度テープを入れておけば、次にテープを聞くときは▶または◀ボタンを押すだけで電源が入り、聞くことができます。
- ・TYPE I(ノーマル)、TYPE II(ハイポジション)、TYPE III(メタル)のどのテープも再生に使えます。

こんなときは                    押すボタン

音量を調節する                    音量 +、-

再生を止める                    ■

反対面を再生する                    ▶

早送りや早戻しをする                    ▶◀または▶▶

カセットを取り出す                    △押す 開/閉

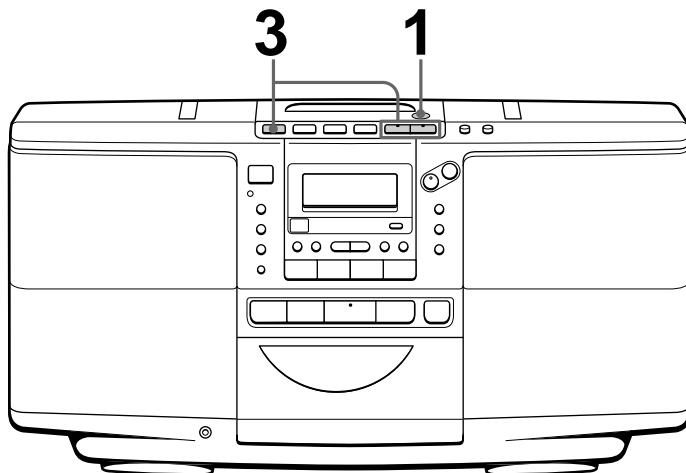
電源を入/切する                    電源

再生する面(片面か両面)を選ぶには

本体の反転モードボタンを押すたびに、下のように切り換わります。

表示窓
片面だけを聞く
両面を聞く
両面を繰り返して聞く

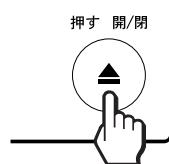
# 録音する



接続と準備→電源コードを接続してください(38ページ)。

MDなどへの録音→まず接続してください(40ページ)。

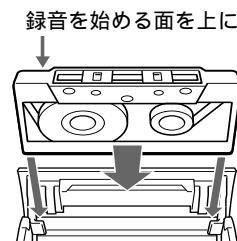
1



▲押す 開/閉を押してカセット  
ぶたを開け、録音用カセット  
を入れる。

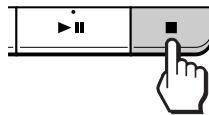
TYPE I(ノーマル)テープをお使い  
ください。

閉めるときも▲押す 開/閉を押します。



2

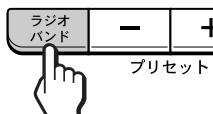
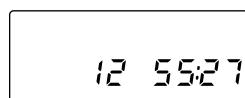
録音するものを選ぶ。



CDを録音するとき

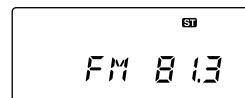
CDを入れる(8ページ参照)。CDの  
■ボタンを押して、CDを録音できる  
状態にする。

本体表示窓



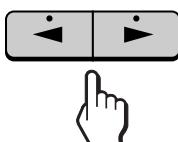
ラジオを録音するとき

録音する局を受信する(10ページ参  
照)。



# 3

## 録音を始める。



CDを録音するとき

- ① ●/IIボタンを押したあと、▶ボタンを押す。(リモコンでは、●/IIボタンを押しながらテープの▶ボタンを押す。)



- ② ▶ボタンを押してCDの再生を始める。

ラジオを録音するとき

- /IIボタンを押したあと、▶ボタンを押す。



### ご注意

本体では、●/IIボタンを押してから4秒以内に▶ボタンを押してください。

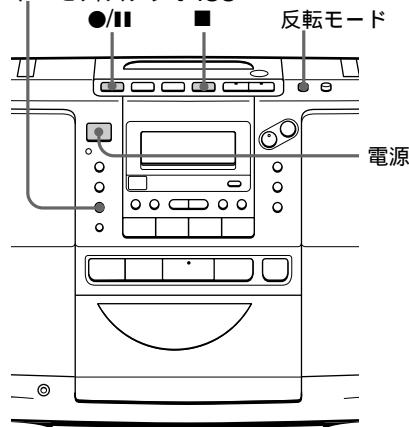
ここだけ  
読みます

### ちょっと一言

- 反対面に録音するには、▶ボタンの代わりに◀ボタンを押します。
- 録音中、音量や音質を変えても録音される音は変わりません。
- 表示窓に「」または「」が出ていると、テープの両面に録音されます。片面だけに録音するときは、本体の反転モードボタンを押して「」を出します。
- AM放送を録音するとき、手順3で●/IIボタンを押したあとビーという雑音が出ていたら、本体のモード・モノ/ステレオ ISSボタンを押して雑音が消える状態を選んでください。
- 録音した音を消去するには
  - デッキに音を消したいカセットを入れ、テープの▶ボタンを押す。
  - /IIボタンを押したあと、▶ボタンを押す。(リモコンでは、●/IIボタンを押しながら、テープの▶ボタンを押す。)

## その他の操作

### モード・モノ/ステレオ ISS



### こんなときは

### 押すボタン

### 録音を止める



### 録音を一時停止する



もう一度押すと録音が始まります。

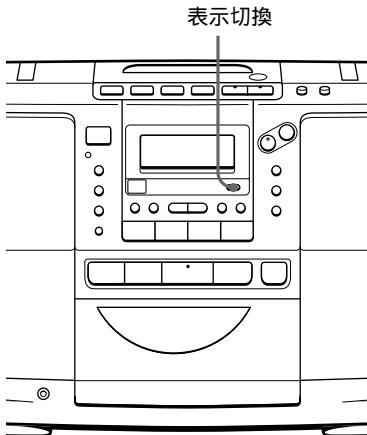
### 電源を入/切する



ここだけ  
読みます

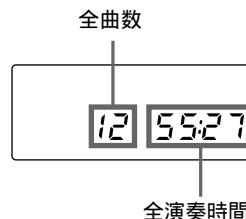
# 表示窓の見かた

表示窓で、CDの全曲数や全演奏時間、残りの曲数、残り時間などを調べることができます。



全曲数と全演奏時間を調べるには

停止中、表示切換ボタンを押す。



残り時間を調べるには

演奏中、表示切換ボタンを押す。

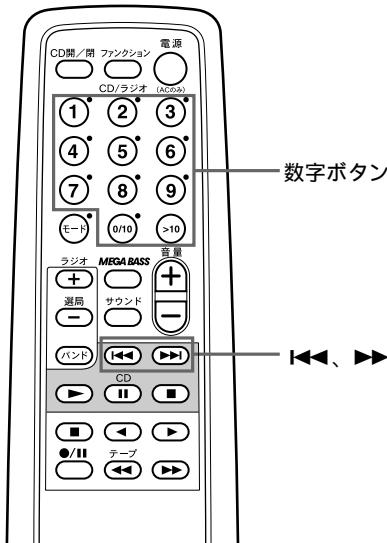
表示	押す回数
演奏中の曲番と曲の残り時間*	1回
CD全体の残りの曲数と残り時間	2回
演奏中の曲番と演奏経過時間	3回

\*21曲以降の曲では、演奏中の曲の残り時間は「---」と表示されます。

# 聞きたい曲を選ぶ

(ダイレクト選曲 / サーチ )

数字ボタンですぐに聞きたい曲の演奏が始ま  
れます。◀◀、▶▶ボタンで曲の中の聞き  
たい部分を探すこともできます。



CD

## ご注意

ダイレクト選曲の場合は、表示窓に「SHUF」、「PGM」が出ていたら、CDの■ボタンを押して消します。

## ちょっと一言

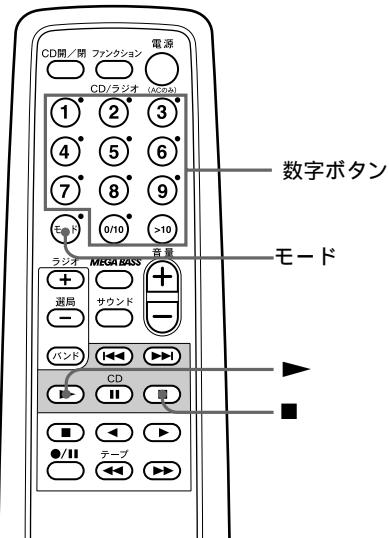
11曲目以降の曲を選ぶには、>10ボタンを押したあと10の位の数、1の位の数という順に数字ボタンを押します。

例：23曲目を選ぶときは、  
>10 2 3の順に押します。

選びかた/探しかた	操作のしかた
曲番で直接選ぶ (ダイレクト選曲)	聞きたい曲番の数字ボタンを押す。
聞きながら探す (サーチ)	演奏中に◀◀または▶▶ボタンを押し たままにする。
表示窓の演奏時間 を見ながら探す (高速サーチ)	一時停止中に◀◀または▶▶ボタンを 押したままにする。

# 繰り返し聞く (リピート演奏)

CDの全曲または1曲を繰り返し聞くことができます。シャッフル演奏やプログラム演奏を繰り返すこともできます。



## ご注意

1曲リピート、全曲リピートの場合は、表示窓に「SHUF」「PGM」が出ていたら、CDの■ボタンを押して消します。

## 本体では

モード・モノ/ステレオ ISS ボタンを押して「REP 1」、「REP ALL」、「REP」、「SHUF」、「REP」「PGM」を選びます。

### 1 CDの■ボタンを押す。

「Cd」が表示されます。

### 2 次の操作をする。

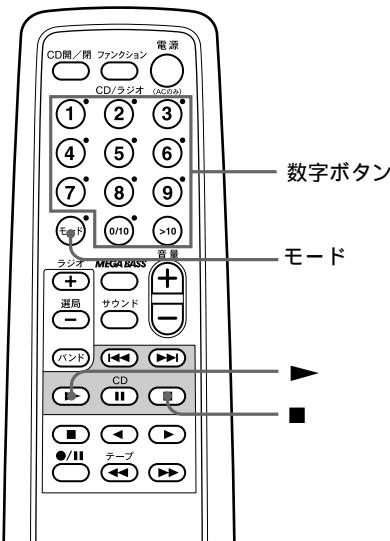
リピートの種類	押すボタン
1曲だけ繰り返す	1 モードボタンを押して「REP 1」を表示させる。 2 数字ボタンを押して曲を選ぶ。
全曲を繰り返す	1 モードボタンを押して「REP ALL」を表示させる。 2 CDの▶ボタンを押す。
順不同に繰り返す	1 モードボタンを押して「REP」と「SHUF」を表示させる。 2 CDの▶ボタンを押す。
プログラムした曲順で繰り返す	1 プログラムする(21ページの手順1~4)。 2 モードボタンを押して「REP」と「PGM」を表示させる。 3 CDの▶ボタンを押す。

リピート演奏をやめるには  
モードボタンを押して「REP」を消します。

# 1曲だけ聞く

(1曲演奏)

CDの1曲だけを演奏して止まります。



本体では

- 1 CDの■ボタンを押す。
- 2 モード・モノ/ステレオ ISS  
ボタンを押して  
「1TRACK」を選ぶ。
- 3 ▶◀または▶▶ボタンで  
曲を選ぶ。
- 4 ▶IIボタンを押す。

1 CDの■ボタンを押す。

「Cd」が表示されます。

2 モードボタンを押して「1TRACK」を表示させる。

3 数字ボタンを押して曲を選ぶ。

選んだ曲の演奏が始まります。

1曲演奏をやめるには

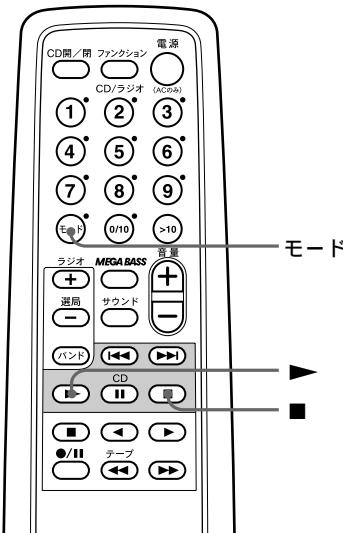
モードボタンを押して「1TRACK」表示を消します。

CD

# 順不同に聞く

(シャッフル演奏)

CDに入っている全曲を順不同に聞くことができます。



1 CDの■ボタンを押す。

「Cd」が表示されます。

2 モードボタンを押して「SHUF」を表示させる。

3 CDの▶ボタンを押す。

演奏が始まります。

シャッフル演奏をやめるには  
モードボタンを押して「SHUF」を消します。

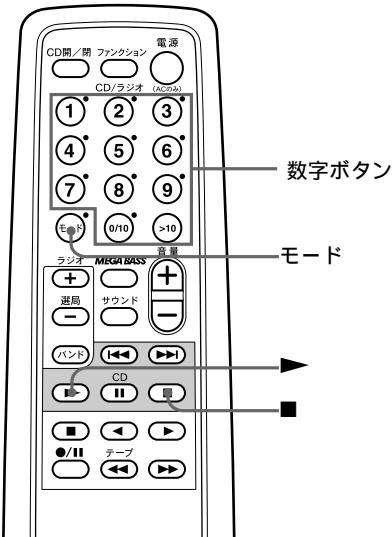
本体では

モード・モノ/ステレオ ISS  
ボタンで「SHUF」を選び  
ます。

# 聞きたい曲を 好きな順に聞く

(プログラム演奏)

CDを聞きながら好きな曲を選んで、聞きたい順に20曲までプログラムすることができます。



本体では

- 1 CDの■ボタンを押す。
- 2 モード・モノ/ステレオ ISS ボタンを押して「PGM」を選ぶ。
- 3 ▲▼または▶◀ボタンで曲を選び、決定 メモリー チェックボタンで決定する。  
この操作を繰り返す。
- 4 ▶IIボタンを押す。

ちょっと一言

曲番を選び間違えたときは、本体の取消しボタンを押してから、曲を選び直します。

ご注意

21曲以上入ったCDの21曲目以降の曲をプログラムすると、プログラムの合計時間は「--:--」と表示されます。

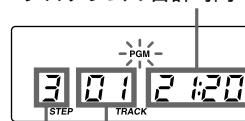
1 CDの■ボタンを押す。

「Cd」が表示されます。

2 モードボタンを押して「PGM」を表示させる。

3 聞きたい順に、曲番の数字ボタンを押していく。

プログラムの合計時間



4 CDの▶ボタンを押す。

プログラムした順に演奏が始まります。

次のページへつづく

## 聞きたい曲を好きな順に聞く(プログラム演奏)(つづき)

### ちょっと一言

- プログラム演奏が終わっても、作ったプログラムは残っています。CDの▶ボタンを押すと同じプログラムをもう一度聞くことができます。CDトレイを開けるとプログラムの内容は消えます。
- プログラム演奏を録音するには
  - 1 プログラムを作ってから録音用カセットを入れる。
  - 2 ●/■ボタンを押したあとテープの▶ボタンを押し、CDの▶ボタンを押す。

### プログラム演奏をやめるには

モードボタンを押して「PGM」を消します。

### 曲順を確認するには

停止中に、本体の決定 メモリー チェックボタンを押して「CHECK」を表示させ、◀◀または▶▶ボタンを押していくと、プログラムした順で曲番号が表示されます。

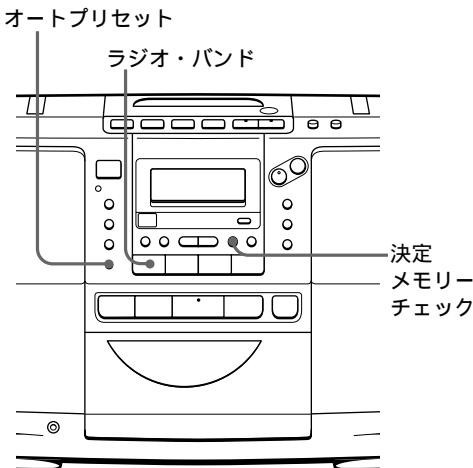
### プログラムを変更するには

演奏を始める前に、変更します。

変更のしかた	操作のしかた
最後の曲から消す	<ol style="list-style-type: none"><li>1 本体の取消しボタンを押す。プログラムした最後の曲が消えます。</li><li>2 リモコンの数字ボタンでプログラムし直す。</li></ol>
プログラムをし直す	<ol style="list-style-type: none"><li>1 CDの■ボタンを押して、プログラムを消す。</li><li>2 初めからプログラムし直す。</li></ol>

# 放送局を記憶させる

受信状態の良い放送局を自動的に記憶させ、次からは記憶させた番号(プリセット番号)でその局を選ぶことができます。FM、AM各10局ずつ、合計20局まで記憶できます。



本体では

- 1 ラジオ・バンドボタンを押して、FMかAMを選ぶ。
- 2 決定メモリー・チェックボタンを表示窓の表示が点滅するまで約2秒間押したままにする。
- 3 プリセット+または-ボタンを押して、プリセット番号を選ぶ。
- 4 決定メモリー・チェックボタンを押す。
- 5 選局時刻合せ+または-ボタンを押して、放送局を選ぶ。
- 6 決定メモリー・チェックボタンを押す。

**1 バンドボタンを押して、FMかAMを選ぶ。**

**2 周波数表示が消えて「AUTO」が表示されるまで、オートプリセットボタンを押したままにする。**

プリセット番号の1番から順に、周波数の低い局から高い局へ受信状態の良い局が自動的に記憶されます。

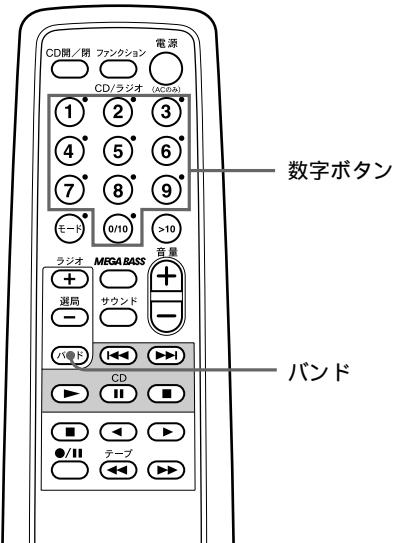
電波が弱くオートプリセットで記憶できなかった局があるときや、特定のプリセット番号に記憶させたいときはリモコンで操作します。

- 1 バンドボタンを押して、FMかAMを選ぶ。
- 2 選局+、-ボタンを押して、放送局を選ぶ。
- 3 記憶させたいプリセット番号の数字ボタンを約2秒間押したままにする。

新しい局を記憶すると、同じプリセット番号に記憶されていた前の局は消えます。

# 記憶させた放送局を聞く

リモコンの数字ボタンや本体のプリセット+、-ボタンで、簡単に放送局を選ぶことができます。



本体では

プリセット+または-ボタンを押して、聞きたい局のプリセット番号を表示させます。

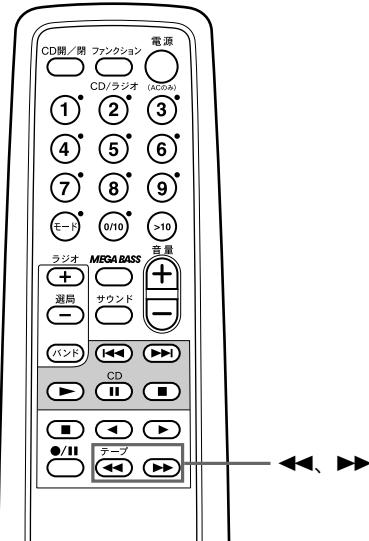
**1** バンドボタンを押して、FMかAMを選ぶ。

**2** 聞きたい局のプリセット番号の数字ボタンを押す。



# 曲の頭出しをする

テープの曲と曲の間の無音部分(あき)を探して、簡単に頭出しができます。



テープ

## ご注意

- 正確に頭出しどけるには曲間に約4秒の無音部分が必要です。
- 非常に小さい音の部分が何秒か続くと、曲の途中でも再生が始まることがあります。
- 曲間の無音部分から頭出しどけると、正確に頭出しどけないことがあります。

再生中に次のボタンを押す。

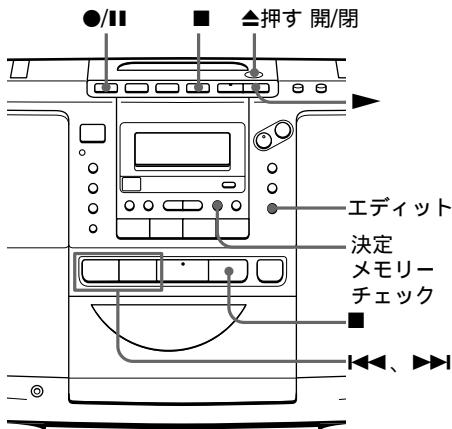
再生している面	次の曲の頭出し	今聞いている曲の頭出し
上面(►)	►	◀
反対面(◀)	◀	►

曲の始めまで早送りまたは早戻しされ、自動的に再生が始まります。

# CDを編集録音する

編集録音の方法には3種類あります。

- CDの全曲を曲順を変えずにテープの両面にふり分けて録音する。  
(EDIT ALL)
- 自自分でプログラムした曲順でテープの両面にふり分けて録音する。(EDIT PGM)
- 指定した1曲だけを録音する。  
(EDIT 1TRACK)



ちょっと一言

- 編集録音では最大20曲までのCDが使えます。
- テープの時間は2分単位で98分まで表示されます。
- 録音するときは、乾電池ではなく付属の電源コードを使用することをおすすめします。

ご注意

操作の途中でCDトレイを開けると、録音用に設定した内容が消えてしまいます。始めからやり直してください。

## CD全曲を録音する(EDIT ALL)

A面とB面にほぼ半分ずつ、しかも曲の途中でテープが反転しないようにふり分けます。必要なテープの時間が表示されるので、余りの少ない録音テープができます。また、お手持ちのテープに合わせて、テープ時間を設定することもできます。

- 1 CDの■ボタンを押して、「Cd」を表示させる。
- 2 エディットボタンを押して「E-ALL」を表示させる。

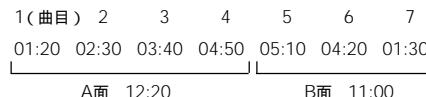


録音に必要な最小限のテープの時間が表示されます。



(例) 録音に必要なテープの時間：26分

片面最大13分録音可能



## ちょっと一言

上面、反対面に入る合計時間を確かめるには  
録音を始める前に、表示切換ボタンを押します。押すごとに、「上面に入る曲の合計時間」→「反対面に入る曲の合計時間」→「総曲数とテープの時間」と表示されます。

- 3** テープの時間を見るときは、◀◀または▶▶ボタンを押して、時間を変える。

テープの時間を見ないとときは、手順4に進む。

(例) テープの時間「40分」を

入力

片面最大20分録音可能

1(曲目) 2 3 4 5 6 7  
01:20 02:30 03:40 04:50 05:10 04:20 01:30  
A面 17:30 B面 5:40



テー  
プ

- 4** 決定 メモリー チェックボタンを押す。

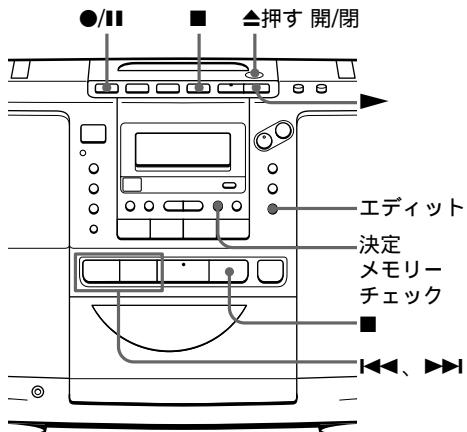
- 5** デッキにカセットを入れる。

- 6** ●/■ボタンを押したあと、▶ボタンを押す。

テープの上面から録音が始まります。



## CDを編集録音する(つづき)



### ちょっと一言

- ・編集録音では最大20曲までのCDが使えます。
- ・テープの時間は2分単位で98分まで表示されます。
- ・録音するときは、乾電池ではなく付属の電源コードを使用することをおすすめします。

### ご注意

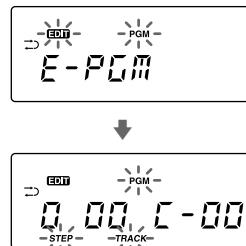
操作の途中でCDトレイを開けると、録音用に設定した内容が消えてしまいます。始めからやり直してください。

## プログラムした曲順で録音する (EDIT PGM)

CDを、好きな曲順でA面とB面にほぼ半分ずつ分けます。必要なテープの時間が表示されるので、余りの少ない録音テープができます。また、お手持ちのテープに合わせてテープの時間を変えることもできます。

**1** CDの■ボタンを押して、「Cd」を表示させる。

**2** エディットボタンを押して「E-PGM」を表示させる。



## ご注意

テープの時間が「--」と表示されたら  
プログラムした曲の合計時間が98分を超えてい  
ます。設定し直してください。

## ちょっと一言

- ・プログラムを間違えたときは、取消しボタンを押します。最後に設定した内容が消えますので、設定し直してください。
- ・プログラムの曲順を確認するには手順6のあとに、決定メモリー チェックボタンを押して「CHECK」を表示させます。◀◀または▶▶を押していくと、プログラムした順で曲番が表示されます。
- ・上面、反対面に入る合計時間を確かめるには録音を始める前に、表示切換ボタンを押します。押すごとに、「上面に入る曲の合計時間」→「反対面に入る曲の合計時間」→「総曲数とテープの時間」と表示されます。

- 3**◀◀または▶▶ボタンを押して聞きたい曲を選び、決定メモリー チェックボタンを押す。  
この操作を繰り返す。

プログラムした曲数と、それ  
らの録音に必要な最小限の  
テープの時間を表示します。



(例) 録音に必要なテープの時間：24分

片面最大12分録音可能

1(曲目)	2	3	4	5	6	7
曲番	5	1	4	3	2	7
時間	5:10	1:20	4:50	2:30	2:30	1:30 4:20

A面 11:20 B面 10:50

- 4**決定メモリー チェックボタンを押す。

- 5**テープの時間を考えるときは、◀◀または▶▶ボタンを押して、時間を変える。  
テープの時間を変えないときは、手順6に進む。

(例) テープの時間「40分」

を入力

片面最大20分録音可能



1(曲目)	2	3	4	5	6	7
曲番	5	1	4	3	2	7
時間	5:10	1:20	4:50	2:30	2:30	1:30 4:20

A面 17:50 B面 4:20

- 6**決定メモリー チェックボタンを押す。

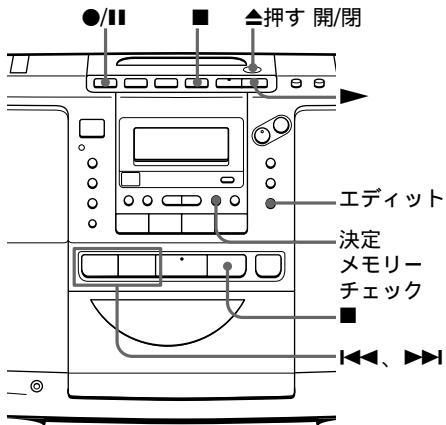
- 7**デッキにカセットを入れる。

- 8**●/IIボタンを押したあと、▶ボタンを押す。

テープの上面からプログラムした順に録音が始まります。



## CDを編集録音する(つづき)



ちょっと一言

- ・編集録音では最大20曲までのCDが使えます。
- ・録音するときは、乾電池ではなく付属の電源コードを使用することをおすすめします。

ご注意

操作の途中でCDトレイを開けると、録音用に設定した内容が消えてしまいます。始めからやり直してください。

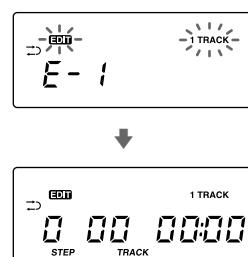
### 1曲だけを録音する(EDIT 1TRACK)

CDシングルの1曲目だけを録音するときや、複数のCDから1曲ずつ選んで録音するときに便利です。自動的に両面録音になります。

1 デッキにカセットを入れる。

2 CDの■ボタンを押して、「Cd」を表示させる。

3 エディットボタンを押して「E-1」を表示させる。



4 ◀◀または▶▶ボタンを押して聞きたい曲を選ぶ。

5 ●/■ボタンを押したあと、テープの▶(上面に録音)または◀(反対面に録音)ボタンを押す。

選んだ曲の録音が始まります。

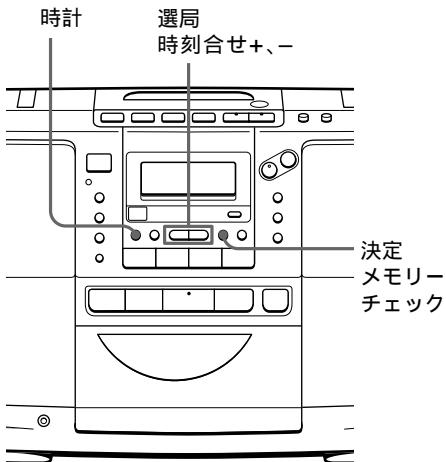


1曲の録音が終わるとCDとテープは停止し、録音した曲数とそれらの録音時間の合計が表示されます。

続けて次の曲を録音するには、上記の手順4、5を繰り返すか、別のCDに交換してから上記の手順4、5を繰り返してください。

# 時計を合わせる

本機の時計は、時刻を合わせるまで  
「-- : --」が表示されています。



## ちょっと一言

- ・本機の時計は12時間表示です。  
真夜中「AM12:00」  
正午「PM12:00」
- ・秒まで正確に合わせるには、時報サービス(117番)をご利用になると便利です。
- ・電源コードをお使いの場合、時計が動いているときは、コロン(:)が点滅します。

## 操作の前に

電源の準備をしてください(38、39ページ参照)

- 1 「時」の表示が点滅するまで、時計ボタンを押したままにする。



- 2 時刻を合わせる。

- ① 選局 時刻合せ+または-ボタンを押して「時」を合わせ、決定メモリーチェックボタンを押す。



- ② 選局 時刻合せ+または-ボタンを押して「分」を合わせる。



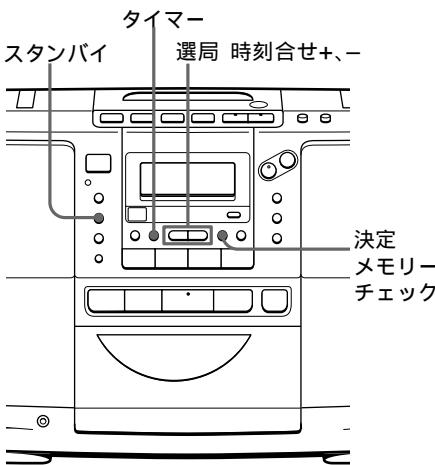
- 3 決定 メモリー チェックボタンを押す。

00秒から時計が動きます。

# 音楽で目覚める

好きな音楽やラジオ番組を目覚まし代わりにすることができます。

本機の時計合わせをしてから操作してください(32ページ参照)。



タイマー

## 操作の前に

表示窓に①が出ていたら、スタンバイボタンを押して消します。

### 1 聞きたい音源の準備をする。

音源	準備
CD	CDを入れる。
RADIO(ラジオ)	聞きたい局を受信する。
TAPE(テープ)	テープを入れる。
LINE(外部入力)	入力端子につないだ機器の電源を入れる。

### 2 タイマーボタンを押して②を表示させる。

このあと表示窓で確認しながら設定していきます。



### 3 選局 時刻合せ+または-ボタンを押して聞きたい音源('CD'、「TAPE」、「RADIO」または「LINE」)を表示させ、決定 メモリー チェックボタンを押す。

[次のページへつづく](#)

# 音楽で目覚める(つづき)

## ちょっと一言

設定を間違えたときは、取消しボタンを押します。  
最後に設定した内容が消えますので、設定し直してください。

## ちょっと一言

- 予約待機状態を取り消すには、スタンバイボタンを押して表示窓の①を消します。
- 予約内容は別の予約をしない限り保持されます。
- 予約再生中は、表示窓のバックライト照明はつきません。

## 4 再生を始める時刻を設定する。

- ① 選局 時刻合せ+または-ボタンを押して「時」を合わせ、決定 メモリー チェックボタンを押す。



- ② 選局 時刻合せ+または-ボタンを押して「分」を合わせ、決定 メモリー チェックボタンを押す。

## 5 同じように再生を止める時刻を設定する。

- 6 選局 時刻合せ+または-ボタンを押して希望の音量を表示させ、決定 メモリー チェックボタンを押す。



## 7 スタンバイボタンを押す。

電源が切れ予約待機状態になり、①が表示されます。予約した時刻になると自動的に再生が始まります。終了時刻になると電源が切れ予約待機状態になります。

予約した内容を確かめたり、変更するには

タイマー ボタンを押してから、決定 メモリー チェックボタンを押します。押すたびに設定した順に予約内容が表示されます。そのまま元の状態に戻すには、タイマー ボタンを押します。変更したい場合は、その内容を表示させて、そこから設定をやり直します。

予約したあとでラジオなどを聞くには

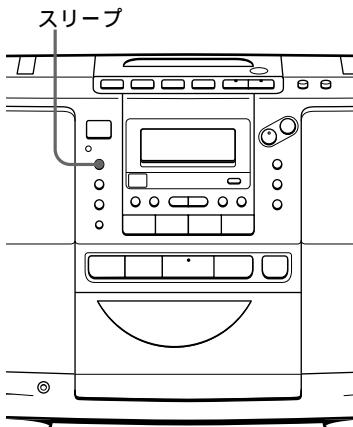
電源を入れれば、通常の操作ができます。(ラジオの場合33ページの手順1で受信した局とは別の局を聞くと、予約した時間には、その別の局が始まります。) 予約した時間になる前に電源を切ります。

予約再生中、途中で止めるには

電源を切ります。

# 音楽を聞きながら眠る

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。時間は10分、20分、30分、60分、90分、120分の中から選べます。音楽を聞きながら安心してお休みになれます。



タイマー

ちょっと一言

- ・スリープ機能が働いているときは、表示窓のバックライト照明はつきません。
- ・目覚ましとスリープ機能を組み合わせて使うことができます。このときは、先に目覚ましを予約してから(33ページ参照)電源を入れ、スリープ機能を働かせます。
- ・目覚ましとスリープ機能で違う音楽を聞くことができます。ただし、ラジオでは別の局を設定することはできません。
- ・目覚ましとスリープ機能で違う音量を設定できます。たとえば、小さな音量で眠り、大きな音量で目覚めることができます。

1 聞きたい音楽の演奏を始める。

2 スリープボタンを押して、「SLEEP」を表示させる。

3 スリープボタンを押して時間(分)を選びます。

ボタンを押すごとに「10」→「20」→「30」→「60」→「90」→「120」→(表示なし)と変わります。



スリープボタンを押してから4秒間そのままにすると、そのとき表示されている時間に設定されます。

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。

スリープ機能を途中で止めるには

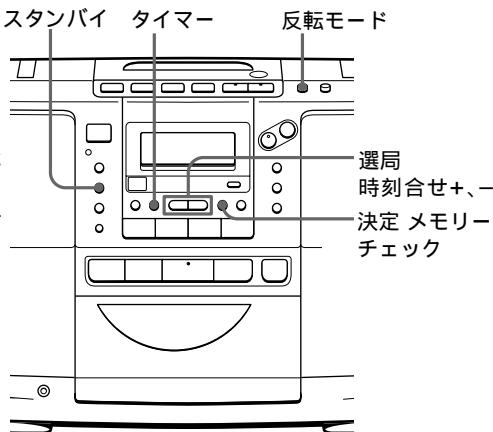
スリープボタンを押して「SLEEP」を消します。

スリープ時間を変更するには

手順2からやり直してください。

# 留守中にラジオを録音する

留守中や深夜など、その場で録音できないときにタイマーを使って録音できます。  
本機の時計合わせをしてから操作してください(32ページ参照)。



## ご注意

ラジオの留守録音と目覚まし(33ページ)は同時に予約できません。

## ちょっと一言

- ・録音するときは、乾電池ではなく付属の電源コードを使用することをおすすめします。
- ・AM放送を録音するときは、手順1で受信した後、●/IIボタンを押してピーッという雑音が出ないか確認してください。雑音が出ていたら、モード・モノ/ステレオISSボタンを押して雑音が消える状態を選んでください。

## 操作の前に

表示窓に①が出ていたら、スタンバイボタンを押して消します。

**1** 録音したい放送局を受信し、デッキに録音用カセットを録音する面を上にして入れる。

**2** 反転モードボタンを押して、録音する面(片面か両面)を選ぶ。

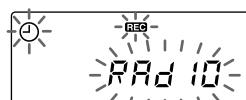
表示窓
片面
両面

**3** タイマーボタンを押して、①を表示させる。

このあと表示窓で確認しながら設定ていきます。



**4** 選局 時刻合せ+または-ボタンを押して、「RADIO」と「REC」を表示させ、決定メモリーチェックボタンを押す。

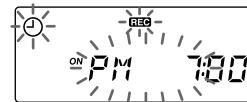


## ちょっと一言

設定を間違えたときは、取消しボタンを押します。  
最後に設定した内容が消えますので、設定し直してください。

## 5 録音を始める時刻を設定する。

- ① 選局 時刻合せ+または-ボタンを押して「時」を合わせ、決定メモリー チェックボタンを押す。



- ② 選局 時刻合せ+または-ボタンを押して「分」を合わせ、決定メモリー チェックボタンを押す。

## 6 同じように録音を止める時刻を設定する。

- 7 選局 時刻合せ+または-ボタンを押して希望の音量を表示させ、決定メモリー チェックボタンを押す。



## 8 スタンバイボタンを押す。

電源が切れ予約待機状態になり、④と録音されるテープ面表示(手前面▶または反対面◀)が出ます。録音される面を切り換えるには、もう一度スタンバイボタンを押します。

予約した時刻になると自動的に録音が始まり、終了時刻になると電源が切れ予約待機状態になります。

## ちょっと一言

- 予約待機状態を取り消すには、スタンバイボタンを2回押して表示窓の④を消します。
- 予約内容は別の予約をしない限り保持されます。
- 両面録音の場合は、両面の録音が終わるとそこで止まり、上書きはされません。
- 予約録音中は、表示窓のバックライト照明はつきません。

予約した内容を確かめたり、変更するには

タイマーボタンを押してから、決定メモリー チェックボタンを押します。押すたびに設定した順に予約内容が表示されます。そのまま元の状態に戻すには、タイマーボタンを押します。変更したい場合は、その内容を表示させて、そこから設定をやり直します。

予約したあとでラジオなどを聞くには

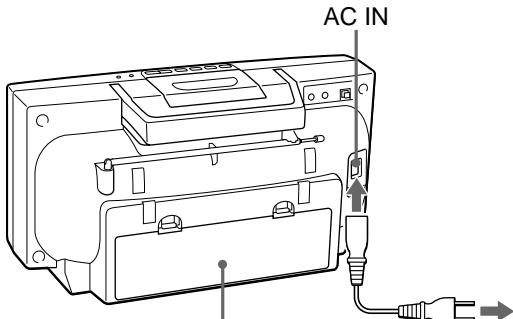
電源を入れれば、通常の操作ができます。予約した時間になる前にもう一度録音したい放送局を受信し、電源を切ります。

予約録音中、途中で止めるには  
電源を切ります。

# 電源を準備する

家庭用電源または、乾電池のいずれかを選んでお使いになれます。

録音するときは、電力消費量が大きいため、家庭用電源でお使いください。



**1** **4** 乾電池収納部 **2** 壁のコンセントへ

## ご注意

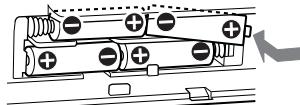
電源コードを抜いたり乾電池を取り出す前に、必ず電源を切ってください。

## ちょっと一言

電源コードの極性(コンセントにプラグを差し込む向き)により音質が微妙に変わります。どちらかお試しになり、好みの音質でお聞きください。

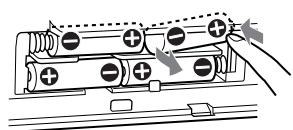
## **1** メモリー用乾電池を入れる

停電時に内蔵タイマーや放送局の記憶内容を保つためには、メモリー用乾電池を入れてお使いください。



単3形乾電池4個(別売り)

取り出すときは、+側を押します。

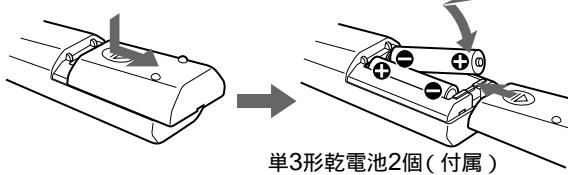


## **2** 電源コードを接続する

本機のAC INジャックへ差し込んだあと、壁のコンセントへ差し込んでください。

## **3** リモコンに乾電池を入れる

### リモコン裏面



単3形乾電池2個(付属)

### 乾電池の交換について

乾電池が消耗してくると、リモコンで操作できる距離が短くなります。乾電池をすべて新しいものと交換してください。ふつうの使いかたで約6か月もちます。

## ちょっと一言

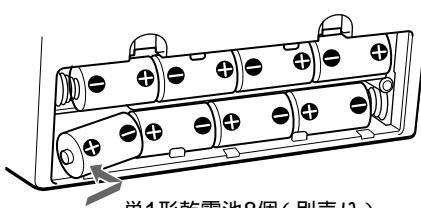
乾電池のみで使用中、メモリー用の乾電池が消耗してくると、表示窓の時計表示が薄くなったり、タイマーの操作ができなくなったりします。乾電池をすべて新しいものと交換してください。電池は約6か月もちます。電源コードをつないだままで交換すると記憶内容がそのまま残ります。

## ご注意

- 本機には充電式ニカド電池や充電式ニッケル水素電池などの充電式電池は使えません。
- 乾電池を出し入れするときは、他の機器とつないでいる接続コードやケーブルをはずしてください。接続コードやケーブルが傷つくおそれがあります。
- 乾電池でお使いの場合は、表示窓のバックライトはつきません。また、リモコンで電源を入れることはできません。

## 4 乾電池を入れる

乾電池でお使いになるときは、本体から電源コードを抜いてください。

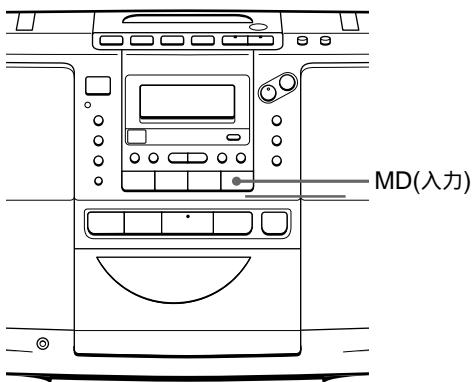


## 乾電池の交換について

乾電池のみで使用中、乾電池が消耗してくると電源/電池ランプが暗くなったり、自動的に電源が切れたりします。乾電池をすべて新しいものと交換してください。

# MDなどをつないで使う

CDをMDに録音したり、ポータブルMDやテレビ、ビデオの音を本機のスピーカーで聞くことができます。他の機器と接続するときは電源を切ってください。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。



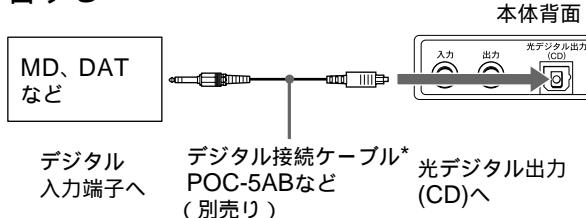
## ご注意

接続コードはしっかり差し込んでください。誤動作の原因になります。

## ちょっと一言

- 光デジタル出力(CD)端子の保護キャップをはずしたら、本機背面のキャップ入栓に収納できます(52ページ)。
- 複数のCDから1曲ずつ録音するときは、EDIT 1TRACK機能が便利です。(30ページ参照)
  - 接続する。
  - 電源を入れる。
  - 30ページの手順2~4を行う。
  - 接続した機器を録音状態にする。
  - 本機のCDの再生を始める。

## CDをMDやDATに光デジタル出力で録音する



- 本機背面の光デジタル出力(CD)端子の保護キャップをはずし、別売りのデジタル接続ケーブルで、接続する機器のデジタル入力端子とつなぐ。
- 電源を入れる。
- 接続した機器を録音状態にする。
- 本機のCDの再生を始める。

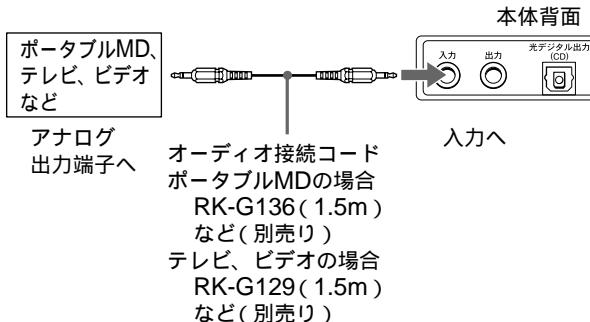
\* 相手側のデジタル入力端子の形状によって、接続ケーブルが異なります。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。本機は角型光コネクターを採用しています。

接続する端子の形状	接続ケーブルの型名
光ミニプラグ(ポータブルMDなど)	POC-5AB
L型7ピンコネクター (ポータブルDATなど)	POC-DA12P
角型光コネクター (MD、DATデッキなど)	POC-10A

## ちょっと一言

つないだ機器の音を録音するには、手順2のあとで、デッキにカセットを入れ、●/■ボタンを押したあとテープ▶ボタンを押します。(14ページ参照)

## ポータブルMDやテレビ、ビデオの音を聞く

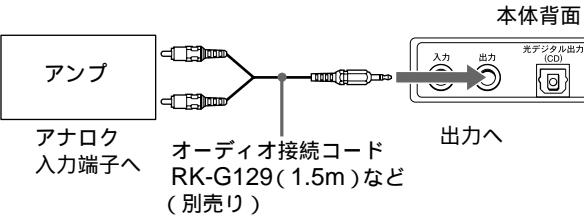


- 1 別売りの接続コードを、接続する機器の出力端子と本機背面の入力端子につなぐ。
- 2 電源を入れ、MD(入力)ボタンを押す。  
ランプが点灯して、接続した機器からの音がスピーカーから出ます。

## ご注意

- 「Cd」が表示されているとき、CDが停止状態でも光デジタル出力部は動作していますので、ジャックは光っています。
- CD-ROMなどの音楽用以外のディスクを演奏すると雑音が出ることがあります。

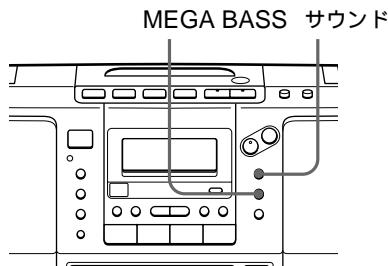
## 別のスピーカーで聞く



- 1 別売りの接続コードを接続する機器の入力端子と本機背面の出力端子につなぐ。
- 2 本機を操作する。

# 好みの音質で聞く

音楽や聞きかたに合わせた音質の設定を5種類の中から選べます。また重低音を強調することができます。



## サウンド効果を楽しむ

サウンドボタンを押す。

ボタンを押すごとに表示が切り換わります。希望の音質を選んでください。

SOUND  
ロックなどに  
重低音と高音域を増強し、メリハリのきいた迫力のサウンドになります。

SOUND  
ポップスなどに  
中、高音域を強調し、軽やかで明るい感じになります。

SOUND  
ジャズなどに  
低音をはっきりさせ、ずっしりとした音質になります。

SOUND  
ボーカルを聞きたいときに  
中音域が強調され、ボーカルをきわだたせます。

SOUND  
クラシックなどに  
ダイナミックレンジの広い音楽を聞くときには適しています。

## 重低音を楽しむには

MEGA BASSボタンを押す。

「MEGA BASS」が表示されます。通常の音に戻すにはもう一度MEGA BASSボタンを押します。

# 使用上のご注意

## 取り扱いについて

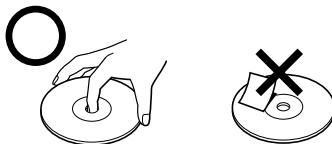
- CDトレイを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。
- 本機のスピーカーには強力な磁石を使っています。次のようなものは本機のそばに置かないでください。磁気が変化して不具合があ起ることがあります。
  - 時計
  - クレジットカードなどの磁気カード
  - カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ

また、本機をテレビの近くには置かないでください。テレビの画像が乱れることがあります。

- カセットデッキを長い間使わなかったときは、数分間再生状態にして、ならし運転をしてください。よい状態でお使いいただけます。

## CDの取り扱いかた

- 文字の書かれていない面(演奏面)に触れないように持ちます。
- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。



- 長時間演奏しないときは、ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねて置いたり、ななめに立てかけておくとその原因になります。
- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星形、ハート型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

## CDのお手入れのしかた

- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。

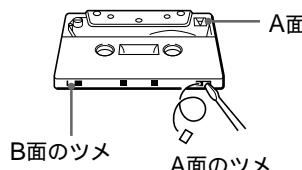
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方向へ軽く拭きます。



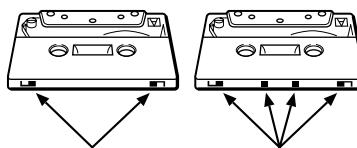
- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので、使わないでください。

## 大切な録音を守る—誤消去防止

ツメを折ると録音できなくなるので、誤って録音内容を消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をふせロハンテープなどでふさげば再び録音できます。



TYPEII(ハイポジション)またはTYPEIV(メタル)カセットの穴をふさぐときは、間違って検出孔をふさがないように注意してください。検出孔をふさぐとテープ自動検出機能(ATS)が正しく働きません。



TYPEII(ハイポジション) TYPEIV(メタル)  
カセット検出孔 カセット検出孔

## 長時間テープをお使いのときは

90分を越えるテープは長時間使用には便利ですが、薄く伸びやすいテープです。こぎざみな走行、停車、早送り、早戻しなどを繰り返すと、テープが機械に巻き込まれる場合がありますので、ご注意ください。

# 故障かな?と思ったら

修理に出す前に、もう一度次の点検をしてください。

症状	チェック項目
音が出ない。 共 通	<ul style="list-style-type: none"><li>電源ボタンを押して電源を入れる。</li><li>電源コードをAC INジャックとコンセントにしっかり差し込む。</li><li>乾電池は<math>\oplus\ominus</math>を正しく入れる。(39ページ)</li><li>電池が消耗していたら、新しいものと交換する。(39ページ)</li><li>充電式ニカド電池や充電式ニッケル水素電池などの充電式電池を使用している→本機は充電式電池では動きません。</li><li>音量を調節する。</li><li>スピーカーで聞くときは、ヘッドホンを□ジャックから抜く。</li></ul>
自動的に電源が切れる。	<ul style="list-style-type: none"><li>電池をすべて新しいものと交換する。(39ページ)</li></ul>
異常音が出る。 雑音が多い、音が小さい、音質が良くない。	<ul style="list-style-type: none"><li>電池が消耗していたら新しいものと交換する。(39ページ)</li></ul>
演奏が始まらない。	<ul style="list-style-type: none"><li>CDトレイが閉まっていることを確認する。</li></ul>
CDが入っているのに「NO DISC」が表示される。 C D 部	<ul style="list-style-type: none"><li>CDが裏返し→文字のある面を上にする。</li><li>CDの汚れがひどい→クリーニングする。(43ページ)</li><li>レンズに露(水滴)がついている CDを取り出してCDトレイを開けたまま1時間くらい置く。</li><li>CDの■ボタンを押して、CDの操作ができるようにする。</li></ul>
音がとぶ。	<ul style="list-style-type: none"><li>CDによっては音がとぶことがあります。音量を下げてください。</li><li>CDの汚れがひどい→クリーニングする。(43ページ)</li><li>CDに大きな傷がある→CDを取り換える。</li><li>振動のない場所に置く。</li></ul>

症状	チェック項目
CD部	CDを聞くと、近くのテレビやラジオに雑音が入る。
	編集(EDIT機能)ができない。
ラジオ部	ステレオにならない。
	雑音が入る
テープ部	操作ボタンを押してもテープが動かない。
	録音がない。
前	前の録音が完全に消えない。

- 本機をテレビやラジオからできるだけ離す。
- 21曲以上入っているCDを使っている。→20曲までのCDをお使いください。
- モード・モノ/ステレオ ISSボタンを押して、「ST」を表示させる。(11ページ)
- FMステレオ放送を受信しているときは、受信状態によっては雑音が多くなります。(11ページ)
- テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。また、室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でFM放送を聞くと、テレビの画像が乱れことがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。
- AM放送受信時にリモコンで操作すると、雑音が入ることがあります。
- このラジオ(チューナー)のテレビ音声回路はFM放送の受信回路と兼用になっています。このため一部の地域ではテレビ2または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。その場合にはお近くのサービス窓口にご相談ください。
- カセットぶたをきちんと閉める
- 電池をすべて新しいものと交換する。(39ページ)
- デッキに入れたカセットのツメが折れていたら、穴をセロハンテープなどでふさぐ。(43ページ)
- テープの■ボタンを押してテープの操作ができるようにする。
- 消去ヘッドをクリーニングする。(47ページ)
- TYPE II(ハイポジション) TYPE IV(メタル)テープを使っている→録音できるテープはTYPE I(ノーマル)のみです。

## 故障かな?と思ったら(つづき)

	症状	チェック項目
テ ー ブ 部	雑音が多い。音質が良くない。	<ul style="list-style-type: none"><li>本体用電池が消耗していたら、新しいものと交換する。(39ページ)</li><li>ヘッド、ピンチローラー、キャブスタンをクリーニングする。(47ページ)</li><li>ヘッディレーザー・クリーナーを使ってヘッドを消磁する。(47ページ)</li></ul>
	再生中に一時停止ができない。	<ul style="list-style-type: none"><li>一時停止ができるのは、録音時のみです。</li></ul>
タ イ マ ( 時 計 ) 部	タイマーが働かない。	<ul style="list-style-type: none"><li>時計を正しい時刻に合わせる。(32ページ)</li><li>本体用電池が消耗していたら、新しいものと交換する。(39ページ)</li><li>テープが最後まで巻きとられていないことを確かめる。</li><li>電源コードで使用中、停電があった。</li><li>①表示が出ていることを確認する。</li></ul>
リ モ コン	リモコンで操作ができない。	<ul style="list-style-type: none"><li>リモコンの電池が消耗していたら、新しいものと交換する。(38ページ)</li><li>リモコンを本体へ向けて操作する。</li><li>本体とリモコンの間に障害物があったら、取り除く。</li><li>本体リモコン受光部に強い光(直射日光や高周波点灯の蛍光灯など)が当たっていたら、当たらないようにする。</li></ul>

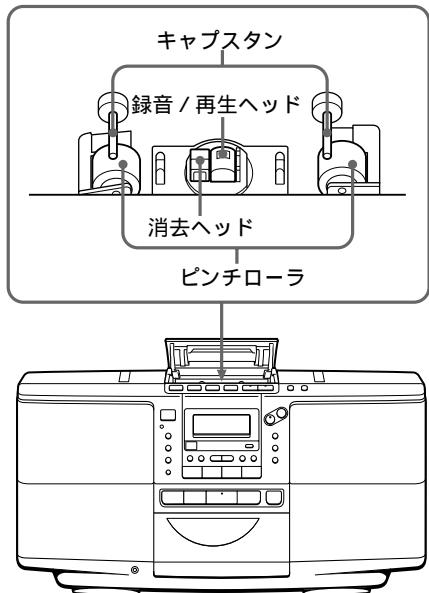
本機はマイコンを使用し、各連係動作を行っています。そのため、電源事情その他により、動作が不安定になることがあります。上記以外で動作が正常でないときは、電源コードをはずし、すべての乾電池を取り出し、表示窓の表示がすべて消えてから、再び乾電池を入れ、電源コードをつないでください。正しく動く場合があります。それでも正しく動かないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

# お手入れ

## ヘッド部のクリーニング

長い間使っていると、ヘッドが汚れてきて音が悪くなったり、途切れたり、あるいは録音ができなくなったりすることがあります。より良い音でステレオ録音、再生を楽しむために、およそ10時間使うごとに別売りのクリーニングキットKK-41を使ってクリーニングすることをおすすめします。市販の綿棒や柔らかい布にアルコールを軽く含ませて、図に示したテープが触れる面を軽く拭きます。

カセットはアルコールが完全に乾いてから入れてください。



## 録音 / 再生ヘッドの消磁

長い間使っていたり、録音/再生ヘッドに磁気を帯びたドライバーなどが触れたりすると、ヘッドが磁化され、そのまま録音や再生をするとボソボソという雑音が入ります。このようなときは、別売りのヘッディレーサー・クリーナーHE-6Cを使って録音/再生ヘッドに消磁をしてください。

## キャビネットのクリーニング

本体の表面が汚れたときは、柔らかい布でから拭きします。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤液でしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

# 保証書と アフターサービス

## 保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへお買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間にについて

当社ではパーソナルオーディオシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるもので

# 主な仕様

## CDプレーヤー部

型式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
チャンネル数	2チャンネル
ワウ・フラッター	測定限界以下(EIAJ*)
周波数特性	20 - 20.000Hz+1/-1dB (EIAJ)

## ラジオ部

受信周波数	FM/TV: 76 - 108MHz (1 - 3 ch) AM: 531 - 1,629kHz
アンテナ	FM/TV: ロッドアンテナ AM: フェライトバー・アンテナ 内蔵

## カセットデッキ部・共通部

トラック方式	4トラック2チャンネル
スピーカー	フルレンジ: 8cm、コーン型 3Ω、2個
早巻き時間	約130秒(ソニーカセット テープC-60 使用)
周波数範囲	TYPE I(ノーマル)カセット: 50-15,000Hz (EIAJ)
入力端子	入力(ステレオミニジャッ ク)1個 最小入力レベル 250mV
出力端子	ヘッドホン(ステレオミニ ジャック)1個 負荷インピーダンス 16-68Ω 出力(ステレオミニジャッ ク)1個 規定出力レベル 250mV、 47kΩ負荷時 負荷インピーダンス 47kΩ以上 光デジタル出力(光角型出力 コネクター)1個 発光波長 630 - 690nm 実用最大出力 4.5W + 4.5W (EIAJ/3Ω)

電池持続時間		
測定条件	使用乾電池	ソニーニュースーパー ソニーアルカリ
テープ再生時** (EIAJ)	R20P	LR20
FM録音時 (EIAJ)	約6時間	約12時間
CD再生時** (EIAJ)	約1.5時間	約3時間

\* EIAJ(日本電気機械工業会)規格による測定値です。

\*\* 音量6分目程度

電源	本体用： 家庭用電源(AC100V, 50/60Hz) 単1形乾電池8個使用 (DC 12V) メモリー用： 単3形乾電池4個使用 (DC 6V) リモコン用： 単3形乾電池2個使用 (DC 3V)
消費電力	25W
最大外形寸法	約435×223×160 mm (幅×高さ×奥行き) (最大突起部含む)(EIAJ*)
質量	本体 約4.3kg ご使用時 約5.2kg(乾電池、CD、テープ含む)
付属品	電源コード(1) リモコン(1) リモコン用単3形乾電池(2) 取扱説明書(1) ソニーご相談窓口のご案内(1) 保証書(1)

### 別売りアクセサリー

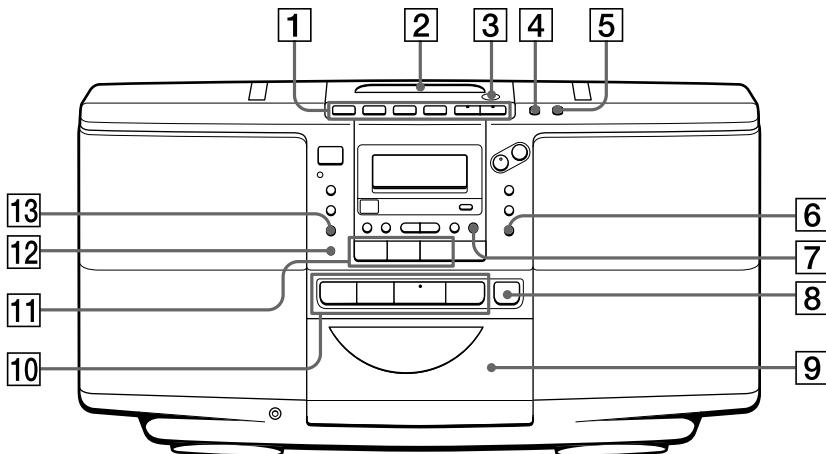
ヘッディレーザー・クリーナー	HE-6C
クリーニングキット	KK-41
CDクリーナー	XP-CD7
オーディオ接続コード	RK-G136
デジタル接続ケーブル (角型光ケーブル↔光ミニプラグ)	POC-5AB

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

# 各部のなまえ

( )内のページに詳しい説明があります。

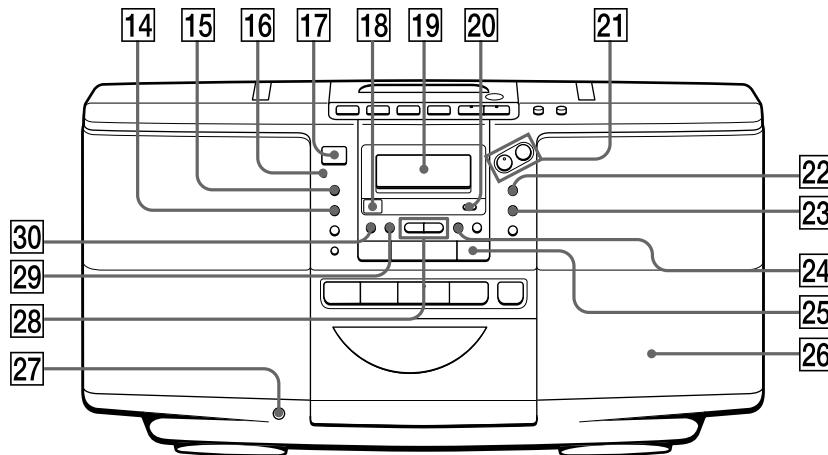
本体前面：CD/ラジオ/テープ部



本体前面：CD/ラジオ/テープ部

- |   |  |
|---|--|
| <b>[1] テープ操作ボタン</b><br>●/■(録音/録音一時停止)(15、27)<br>◀◀、▶▶(早送り/巻き戻し・AMS<br>(選曲))(13、25)<br>■(停止)(13)<br>◀、▶(再生)(12、13) | <b>[8] ▲CD 開/閉(8)</b><br>シーディー <sup>▲</sup><br><b>[9] CDトレイ(8)</b>         |
| <b>[2] カセットぶた(12)</b>   | <b>[10] CD操作ボタン</b><br>◀◀、▶▶(AMS(選曲)/サーチ)(9)<br>▶▶(演奏/一時停止)(8)<br>■(停止)(9) |
| <b>[3] ▲押す 開/閉(12)</b>  | <b>[11] ラジオ操作ボタン</b><br>バンド(10)<br>プリセット+、-(23)                            |
| <b>[4] 反転モードボタン(13)</b>   | <b>[12] オートプリセットボタン(23)</b>  |
| <b>[5] カウンターリセットボタン(13)</b>   | <b>[13] モード・モノ/ステレオISSボタン</b><br>(11、15、18)                                |
| <b>[6] エディットボタン(26)</b>   |  |
| <b>[7] 取消しボタン(21、34)</b>  |  |

## 本体前面：タイマー・共通部

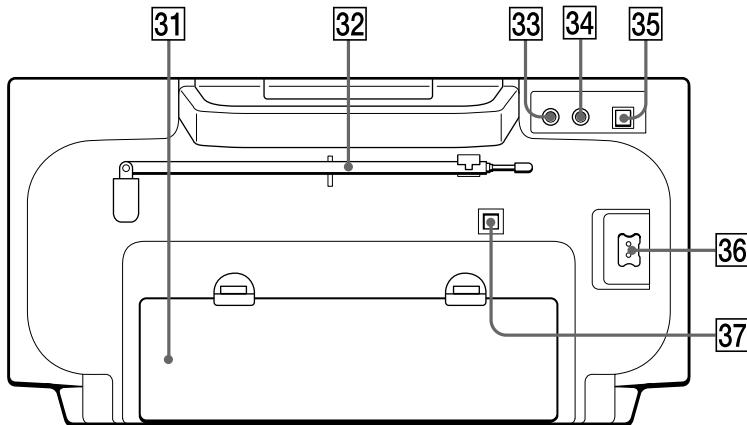


## 本体前面：タイマー・共通部

- |                        |   |
|------------------------|---|
| [14] スタンドバイボタン (34、37) | [24] 決定 メモリー チェックボタン<br>(21、22、23、26、28、30、32、33) |
| [15] スリープボタン (35)      | [25] MD(入力)ボタン (40)                               |
| [16] 電源/電池ランプ          | [26] スピーカー  |
| [17] 電源ボタン (9)         | [27] (ヘッドホン)ジャック(ステレオミニ<br>ジャック)                  |
| [18] リモコン受光部           | [28] 選局 時刻合せ+、-ボタン (10、32)                        |
| [19] 表示窓 (8、16)        | [29] タイマーボタン (33、36)                              |
| [20] 表示切換ボタン(16、27、29) | [30] 時計ボタン (32)                                   |
| [21] 音量 +、- ボタン (9)    |   |
| [22] サウンドボタン (42)      |   |
| [23] MEGA BASSボタン (42) |   |

## 各部のなまえ(つづき)

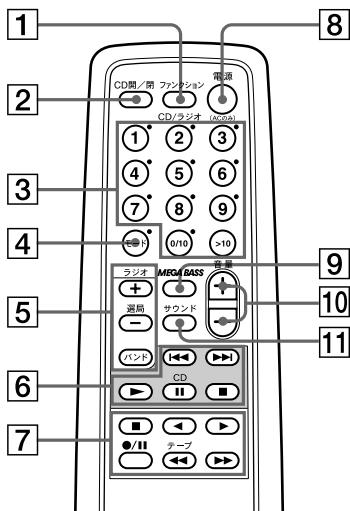
本体後面



本体後面

- 31 乾電池収納部 (38、39)  
エフェクターテレビ
- 32 FM/TV(1-3CH)用ロッドアンテナ (11)
- 33 入力端子 (41)
- 34 出力端子 (41)
- 35 光デジタル出力(CD)端子 (40)
- 36 AC IN ~ ジャック (38)
- 37 光デジタル出力(CD)端子キャップ入れ  
(40)

## リモコン



## リモコン

**1** ファンクションボタン

ボタンを押すごとに、CD → TAPE → RADIO → LINE → CD...と切り換わります。

**2** ▲CD 開/閉ボタン (8)**3** 数字ボタン (17, 18, 19, 24)**4** モードボタン (18~22)**5** ラジオ操作ボタン

選局 +, - (23)

バンド (23)

**6** CD操作ボタン

◀◀, ▶▶(AMS(選曲)/サーチ)

(9, 17, 22)

▶ (演奏) (8, 18, 20, 21)

■ (一時停止) (9)

■ (停止) (9, 18~22)

**7** テープ操作ボタン

■ (停止) (13)

◀, ▶ (再生) (12, 13, 27)

●/■ (録音/録音一時停止) (15, 27)

◀◀, ▶▶ (早送り/巻戻し) · AMS (選曲) (13, 25, 27)

**8** 電源ボタン (ACのみ) (9)

本体を電源コード (AC) でお使いのときのみ  
リモコンで電源を入れることができます。

**9** MEGA BASSボタン (42)**10** 音量 +, - ボタン (9)**11** サウンドボタン (42)

# 用語集

## シャッフル演奏

シャッフルとは「まんべんなく混ぜる」とか、「トランプを切る」の意味。シャッフル演奏では、CDに収録されている曲をランダム（無作為）に並べ換えて演奏する。

## テープ自動検出機能(ATS)

Automatic Tape Selector(オートマチック・テープ・セレクター)の略。テープを入れると検出機能が働いて、テープタイプの特性に最適な状態に調整する。本機で検出されるテープタイプは、TYPE I(ノーマル) II (ハイポジション) IV(メタル)(録音はTYPE I(ノーマル)のみ)。

# 索引

## 五十音順

### ア行

- 頭出し  
CD ..... 9、17  
テープ ..... 25  
オートプリセット ..... 23  
お手入れ ..... 47

### 力行

- 乾電池  
本体用 ..... 39  
メモリー用 ..... 38  
リモコン用 ..... 38  
繰り返し聞く ..... 18

### サ行

- サーチ ..... 17  
再生する  
CD ..... 8  
テープ ..... 12  
サウンド ..... 42  
接続  
電源コード ..... 38  
シャッフル演奏 ..... 20、54  
重低音 ..... 42  
選曲  
CD ..... 17

## タ、ナ行

- ダイレクト選曲 ..... 17  
タイマー  
スリーブ ..... 35  
目覚まし ..... 33  
留守録 ..... 36  
テープ ..... 12、25、36  
テープ自動検出機能 ..... 43、54  
調節する  
音質 ..... 42  
音量 ..... 9、11、13  
低音 ..... 42  
電源  
家庭用コンセント ..... 38  
乾電池 ..... 38、39  
時計を合わせる ..... 32

## ラ、ワ行

- ラジオ ..... 10、23  
リピート演奏 ..... 18  
録音  
CD ..... 14  
テープ ..... 14  
ラジオ ..... 14、36  
誤消去防止 ..... 43  
編集録音 ..... 26

## アルファベット順

- ATS ..... 43、54

その他

Sony<sup>on</sup>line <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111

Printed in China